

2026 年度 白梅学園大学 子ども学部 家族・地域支援学科
編入学者一般選抜 I 期 小論文課題

受験番号		氏 名	
------	--	-----	--

次の表は、2021 年度（令和 3 年度）全国ひとり親世帯等調査結果の概要（表 1）、および一部抜粋（表 2、表 3）である。これらの表から考えたこと、感じたことを 800 字以内でまとめ記載しなさい。ただし、表の数値をもとにまとめること。

表 1 母子世帯と父子世帯の状況

	母子世帯	父子世帯
1 世帯数	1 1 9 . 5 万世帯 (1 2 3 . 2 万世帯)	1 4 . 9 万世帯 (1 8 . 7 万世帯)
2 ひとり親世帯になった理由	離婚 7 9 . 5 % (7 9 . 5 %) 死別 5 . 3 % (8 . 0 %) [7 9 . 6 %] [5 . 3 %]	離婚 6 9 . 7 % (7 5 . 6 %) 死別 2 1 . 3 % (1 9 . 0 %) [7 0 . 3 %] [2 1 . 1 %]
3 就業状況	8 6 . 3 % (8 1 . 8 %) [8 6 . 3 %]	8 8 . 1 % (8 5 . 4 %) [8 8 . 2 %]
就業者のうち 正規の職員・従業員	4 8 . 8 % (4 4 . 2 %) [4 9 . 0 %]	6 9 . 9 % (6 8 . 2 %) [7 0 . 5 %]
うち 自営業	5 . 0 % (3 . 4 %) [4 . 8 %]	1 4 . 8 % (1 8 . 2 %) [1 4 . 5 %]
うち パート・アルバイト等	3 8 . 8 % (4 3 . 8 %) [3 8 . 7 %]	4 . 9 % (6 . 4 %) [4 . 6 %]
4 平均年間収入 [母又は父自身の収入]	2 7 2 万円 (2 4 3 万円) [2 7 3 万円]	5 1 8 万円 (4 2 0 万円) [5 1 4 万円]
5 平均年間就労収入 [母又は父自身の就労収入]	2 3 6 万円 (2 0 0 万円) [2 3 6 万円]	4 9 6 万円 (3 9 8 万円) [4 9 2 万円]
6 平均年間収入 [同居親族を含む世帯全員の収入]	3 7 3 万円 (3 4 8 万円) [3 7 5 万円]	6 0 6 万円 (5 7 3 万円) [6 0 5 万円]

※ 令和 3 年度の調査結果は推計値であり、平成 2 8 年度の調査結果との比較には留意が必要。
※ () 内の値は、前回(平成 2 8 年度)調査結果を表している。(平成 2 8 年度調査は熊本県を除いたものである)
※ [] 内の値は、今回調査結果の実数値を表している。
※ 「平均年間収入」及び「平均年間就労収入」は、令和 2 年の 1 年間の収入。
※ 集計結果の構成割合については、原則として、「不詳」となる回答(無記入や誤記入等)がある場合は、分母となる総数に不詳数を含めて算出した値(比率)を表している。

(出典：厚生労働省「令和 3 年度全国ひとり親世帯等調査結果報告」)

表2 母子世帯の母／父子世帯の父が抱える子どもについての悩みについての内訳（％）

（最もあてはまるもの）

	しつけ	教育・ 進学	就職	非行・ 交友関係	健康	食事・ 栄養	衣服・ 身のまわり	結婚	障害	その他
母子	8.8	60.3	5.8	1.9	5.2	3.1	1	0.5	6.5	7.0
父子	8.9	57.5	7.8	1.5	5.2	6.9	1.9	1.2	5.2	3.8

注1：令和3年度の調査結果は推計値である。

注2：表中の割合は「特に悩みはない」と不詳を除いた割合である。

（出典：厚生労働省「令和3年度全国ひとり親世帯等調査結果報告」の表24-（1）-1、表24-（1）-2より一部抜粋）

表3 ひとり親本人が困っていること内訳（％）（最も困っていること）

	住居	仕事	家計	家事	自分の 健康	親族の 健康・ 介護	その他
母子	9.4	14.2	49.0	3.0	10.7	6.7	6.8
父子	4.7	11.4	38.2	14.1	11.8	10.9	8.9

注1：令和3年度の調査結果は推計値である。

注2：表中の割合は「特にない」と不詳を除いた割合である。

（出典：厚生労働省「令和3年度全国ひとり親世帯等調査結果報告」の表24-（2）より一部抜粋）